

公益財団法人平野政吉美術財団
令和2年度 事業実施計画

- I 展示公開事業**
- II 教育普及事業**
- III 調査研究事業**
- IV 美術ホール運営事業**
- V 売店事業**

令和2年4月1日～令和3年3月31日

<基本方針>

1930年代の藤田嗣治の油彩画を中心とした平野政吉コレクションの展示や美術品に関する調査・研究等をふまえ、県民をはじめ広く世界に当財団の基本財産の意義を発信する。

<重点事業>

- ・基本財産調査の研究の成果を、展示公開事業である常設展、企画展、特別展に生かす。
- ・企画展は、平野政吉コレクションのなかから、藤田嗣治の素描と版画を紹介する「平野政吉コレクション：素描と版画」展、花鳥図を中心に紹介する「平野政吉コレクション：花鳥図を中心に」展を開催する。
- ・特別展としては、シュルレアリスムを代表する画家の展覧会「奇才・ダリ版画展」、秋田の近代建築の歴史的意義や魅力を紹介する「秋田の建築展」、秋田県鷹巣町（現北秋田市）ゆかりの戸嶋靖昌の国内初の回顧展である「戸嶋靖昌展」を開催する。続いて、藤田嗣治が収集した布や着物を布が描かれた1930年代の藤田作品とともに展示する「藤田嗣治と布展」を開催する。
- ・教育普及事業としては、専門的美術講座、講演会、美術館教室やワークショップ、ギャラリートーク、コンサート、出前授業等のイベントを実施し、県民に親しまれる美術館を目指す。
- ・壁画《秋田の行事》については、月一回の定例ギャラリートークを実施する。平野政吉と藤田嗣治の交流、および壁画のテーマとなった「秋田」について理解を深めることができるような解説を行う。
- ・学校と連携し、美術館における幼児、児童、生徒、大学生の学習の充実に務める。
- ・セカンドスクールについては、学年に応じた解説を行い、ワークシートを活用し、作品に向き合う姿勢を涵養する。
- ・セルフガイドの作成、わかりやすい解説など、よりよい鑑賞の実現に取り組む。
- ・展示作品について研修し、他の美術館と交流し、美術館スタッフの資質向上に努める。

<貸しホール事業>

- ・県民の創作活動発表の場である美術ホール（県民ギャラリー）は、ホールの特性を生かした利用促進を図る。特別展「戸嶋靖昌展」では、展示室と一体的に使用することで、大規模な展観を実現する。

I 展示公開事業

<1> 常設展示事業

平野政吉コレクションの核である藤田嗣治作品を展観し、1930年代の藤田の画業を紹介する。

常設展 平野政吉コレクション展 I

1 会 期 令和2年4月11日（土）～ 5月31日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

藤田嗣治の中南米や中国へ旅に取材した作品、および日本をテーマにした作品を展観する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《町芸人》、《室内の女二人》、《北平の力士》、《吾が画室》、《私の画室》など

常設展 平野政吉コレクション展 II

1 会 期 令和2年10月24日（土）～令和3年1月10日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

平野政吉コレクションから、藤田の1930年代の代表作を中心に紹介する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《カーナバルの後》、《客人（糸満）》、《五人女》、《自画像》など

<2> 企画展示事業

平野政吉美術財団所蔵作品、および秋田県立近代美術館所蔵作品、県内在住作家の作品を生かした展覧会を開催する。

企画展 平野政吉コレクション：素描と版画

1 会 期 令和2年9月5日（土）～ 10月18日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

藤田嗣治が群像大作制作を前に描いた人物デッサン、妻・マドレーヌをモデルとしたデッサン、中南米で描いた民衆のデッサンを展観。あわせて、フランスの古文書学者ヴィルフォスが執筆したパリの地誌に、藤田の挿絵を添えた『魅せられたる河』や、ジャン・コクトーのテキストに藤田の版画を挿絵として添えた『四十雀』などを紹介。対象の核心に迫り、画面にいのちを与える、藤田の線の魅力を感じていただく。

4 主な展示作品

藤田嗣治《メキシコでの素描》、藤田嗣治《北京での素描》、藤田嗣治『魅せられたる河』など

企画展 平野政吉コレクション：花鳥図を中心に

1 会 期 令和3年3月13日（土）～5月9日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

平野政吉コレクションは藤田嗣治作品のほか、日本初期洋風画、明治絵画、西洋絵画など多岐にわたるジャンルの作品群で構成されている。このたびの展覧会では、平野政吉コレクションのなかから、花や鳥をテーマにした作品を展観する。

4 主な展示作品

沈南蘋《花鳥図》、沈南蘋《花鳥図（牡丹に孔雀）》、宋紫石《花鳥図》、小田野直武《秋菊図》、など

< 3 > 特別展示事業

美術の動向や時代の状況を踏まえてテーマを設定し、他館からの借用作品を中心に構成した展覧会を開催する。

特別展 奇才・ダリ版画展

1 会 期 令和2年4月11日（土）～令和2年5月31日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

シュルレアリスムを代表する画家サルバドール・ダリ。芸術の幅広いジャンルで活躍し、版画については1600点以上もの作品を残している。その画面には独特のイメージが変奏しながら現れ、観る者を魅了する。本展では、1960年代に精力的に制作した版画を中心に、晩年までの作品を展観。20世紀最大の奇才といわれるダリの真髄を堪能いただく。

4 主な展示作品

サルバドール・ダリ作品

特別展 秋田の建築展

1 会 期 令和2年6月6日（土）～令和2年8月30日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

秋田の近代建築を模型やCG、写真等で紹介し、その歴史的意義や魅力を紹介する。あわせて、1930年代に秋田を訪れた藤田嗣治の足跡を辿り、藤田ゆかりの建築や眺めた風景、旅先で描いた作品を展示する。藤田が惹きつけられた「郷土の素朴さ、清く澄み透す人々の心」という秋田の根源的な魅力について考える展覧会である。

4 主な展示作品

藤田嗣治《雪國の少女》、藤田嗣治《秋田おぼこ》、藤田嗣治《角力》

模型、CG、紹介パネル：藤田の訪問場所－横手市増田町の蔵（石田家など）、旧秋田銀行本店、雄勝郡議事堂、山吉肥料店（増田町）、秋田の酒蔵（両関、爛漫、齋彌酒造など）

藤田ゆかりの映画撮影地－映画「現代日本・田園編」関連資料・写真角館町各地（五井酒造、坂本薬舗、岩崎家など）

《秋田の行事》関連－平野家米蔵、《秋田の行事》に描かれた場所、建物の地図（日吉八幡神社・太平山三吉神社・香爐木橋など）

秋田の名建築とこれからの風景－登録有形文化財や重要文化財の紹介、秋田駅や新屋地区でのプロジェクト、秋田杉を活かしたプロジェクトの紹介

特別展 戸嶋靖昌展－縄文の焰と闇

1 会 期 令和2年10月24日（土）～令和3年1月10日（日）

2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

秋田県鷹巣町（現北秋田市）を父祖の地とする洋画家・戸嶋靖昌（1934－2006）は、

武蔵野美術大学を卒業後、40歳のときに渡ったスペインで30年近く制作を行った。戸嶋の内奥には、その血脈に潜む反骨の精神と、縄文時代の生命力を秘めた秋田の風土があった。本展は、国内で初めての回顧展。約200点の作品・資料の展観により、その画業の全貌を明らかにし、孤高の人物像を浮き彫りにする。

4 主な展示作品

戸嶋靖昌《夢見る裸婦 裸立像習作一》、戸嶋靖昌《アスナルカサルの女》、戸嶋靖昌《アルバインの男—ミゲールの像》、戸嶋靖昌《街・三つの塔—グラナダ遠望—》など

特別展 藤田嗣治 布との対話—筒描・藍染を慈しむ—

1 会 期 令和3年1月16日（土）～3月7日（日）

2 会 場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

藤田嗣治は生涯、染織品や衣装を愛し、自ら収集し手元に置いた。それらの布は、絵の重要なモチーフとして作品にたびたび登場する。藤田が心を寄せた布は、実際に着たり使ったりするなどされたもので、庶民の暮らしの中の布だった。本展では、藤田が愛用した染織品と、近畿地方に残る筒描のコレクションが一堂に会する。あわせて、布が描かれた1930年代の藤田作品を展示し、藤田の画業に布という視点からアプローチする。

4 主な展示作品

藤田嗣治《吾が画室》、藤田嗣治《私の画室》、藤田嗣治《自画像》

資料：「高砂、宝船」、「万祝」、「魚河岸シャツ」

II 教育普及事業

美術館に親しみ、美術への理解を深めてもらうため、さまざまな年齢層、多様な立場の方を対象にした講演会、美術館教室、ワークショップ、ギャラリートークなどを実施する。

(1) 専門的美術講座

事業名 専門的美術講座「館長によるデッサン講座（仮）」

講師 渋谷重弘（秋田県立美術館 館長）

実施日 未定

対象 一般

会場 レクチャールーム

(2) 講演会

事業名 「ダリをめぐる不思議な旅」

講師 村松和明（美術史家）

実施日 令和2年5月17日（日）

対象 一般

会場 レクチャールーム

事業名 「戸嶋靖昌展」関連講演会

講師 執行草舟（戸嶋靖昌記念館館長）

実施日 令和2年11月21日（土）（予定）

対象 一般

会場 カレッジプラザ（予定）

(3) 美術館教室

事業名 美術館教室「ダンスパフォーマンス（仮）」

講師 川村泉（舞踏家）
実施日 令和3年2月
対象 一般
会場 カフェラウンジ（予定）

（4）ワークショップ

事業名 ワークショップ「美術館をつくろう（仮）」
実施日 令和2年8月
講師 込山敦司（秋田県立大学准教授）（予定）
対象 小学生～一般
会場 レクチャールーム

（5）シェアギャラリー

事業名 第2回 秋田県立美術館シェアギャラリー
実施日 令和2年9月18日（金）～28日（月）
監修 館長 渋谷重弘
対象 個人で活動するアーティスト、若年層のアーティスト
会場 1階県民ギャラリー

（6）ギャラリートーク

特別展 「奇才・ダリ版画展」
実施日 令和2年4月18日（土）、5月2日（土）
講師 学芸員
会場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

特別展 「秋田の建築展」
実施日 令和2年6月20日（土）、7月18日（土）、8月15日（土）
講師 学芸員
会場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

企画展 「平野政吉コレクション：素描と版画」
実施日 令和2年9月19日（土）、10月17日（土）
講師 学芸員
会場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

特別展 「戸嶋靖昌展－縄文の焰と闇」
実施日 令和2年10月24日（土）、11月21日（土）、12月19日（土）
講師 学芸員
会場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2

特別展 「藤田嗣治 布との対話－筒描・藍染を慈しむ－」
実施日 令和3年1月23日（土）、2月20日（土）、3月6日（土）
講師 学芸員
会場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

企画展 「平野政吉コレクション：花鳥図を中心に」
実施日 令和3年3月20日（土）、4月17日（土）
講師 学芸員
会場 大壁画ギャラリー、ギャラリー1・2

学芸員による《秋田の行事》トーク

実施日 毎月第1土曜日、竿燈期間中—令和2年8月3日(月)、8月4日(火)、8月5日(水)、8月6日(木)

講師 学芸員

会場 大壁画ギャラリー

(7) ミュージアムコンサート

事業名 「ハンドベルコンサート(仮)」

出演者 未定

実施日 令和2年12月20日(日)

会場 ミュージアムラウンジ

(8) エリアなかいち関連イベント

事業名 「ぬりえを楽しもう(仮)」

実施日 令和3年2月

講師 美術館スタッフ

会場 にぎわい交流館AU

(9) 出前講座

事業名 「壁画《秋田の行事》からのメッセージ」

実施日 未定

講師 学芸員

実施校 未定

Ⅲ調査研究事業

《秋田の行事》をはじめとする平野政吉コレクション、および藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を公表する。

Ⅳ美術ホール(県民ギャラリー)運営事業

事業内容

- 1 絵画、デザイン、彫刻、書道、写真、児童・生徒作品等、美術ホール(県民ギャラリー)で展示する個人および団体の利用受付業務、展示指導を行う。
- 2 特別展「戸嶋靖昌展—縄文の焰と闇」では、美術ホール(県民ギャラリー)と展示室を一体的に展覧会会場として機能させる。
- 3 美術ホール(県民ギャラリー)と2階・3階の展示室あわせての鑑賞を促進する。

V 売店事業

藤田作品の理解を深めるため、インターネットでの《秋田の行事》の額絵販売を行う。
秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ絵はがき等の販売を委託する。